



第58回ブラジル県人会定期総会 新年会 2017

58° Assembléia Geral Ordinária de A C A Iwate Kenjinkai do Brasil e Ano Novo 2017



定期総会

新年会で集まった会員の皆さん 笑顔が素晴らしい

ブラジル岩手県人会「第58期定期総会」が、2月12日（日曜）第2次召集の午前10時半から開催された。開会は大田孝則マウロ副会長の開会宣言。はじめに全員で先亡者へ黙祷を捧げた。

した事業を行いたいと説明。予算案は背伸びしない程度の収支である R \$ 183.000.00 を提案し承認された。

千田曠暁会長は新年の挨拶で、昨年度も会員皆様のご支援とご協力の力により、諸活動が無事に終了したことに感謝を述べた。

「理事会提案」2年間据えおいた会費の調整をお願いし、年会費を R \$ 100.00 とさせて頂くことに賛成を得た。

今後「会員皆様はじめ、岩手県、母県を主体とする賛助会員や交流関係者、海外県人会との交流を密に会発展に繋げた」と語った。

今後の案として来年の2018年は、県人会創立60周年と県人移住100周年を迎えるにあたり、岩手県人会の歴史などを網羅した、記念誌（日本語、ブラジル両語）の構想を述べ、記念誌への寄稿を呼びかけ。母県や後世の資料として残したい。出来ればと今年から諸準備にかかりたいと抱負を述べ、賛同をお願いした。

議長や諸役が選出され、2016年度事業報告では、年3回の誕生日会、東北6県北海道青年部主催運動会。郷土食である10回を迎えた「わんこそば祭り」、第19回日本まつり出店、リオ・オリンピック

期間中ジャパンハウスで公演した北上市の「鬼剣舞」一行との交流、さくねんがつかい、台風の被害を受けた岩手県地方への義捐金協力、「希望郷いわて国体」参加で、海外県人会同士の交流、歓迎会では多くの方々との交流、大震災被災地視察、餅搗き、忘年会開催など多岐な年間行事の報告が平野稔書記からあった。



昆野昭仁ワシントン会計が、収入 R \$ 204.779.00 支出 R \$ 199.595.00 で黒字が報告された。

手島おさむジョージ監査代表が、所感を述べ収支共に公正な処理が行われたと報告。

2017年度事業計画では例年通りの活動に、会員皆さんの声を反映

千田会長 10期自統投

総会後の役員改選では、連名候補届けや会長候補もいなく、席上で会長候補者を求めたが皆無で、多田議長の推薦で千田会長の統投を提案。出席者の賛同を得た。千田会長 10 期目の統投となった。

千田会長は就任にあたり、一世会員の減少に伴い会の次世代継承のため、若い方々の世代交代を望んだが其々の事情が許さず、かといつて無責任を押し通せず、今期だけを条件に担いたいと語った。

今後も県人会活動がマンネリ化にならないよう、会員皆さんのアイデアを活かしたいと協力を要請した。



新年会 日本料理で親睦を



定期総会后、2017年度新年会を開催。日本食の仕出し料理に約80名が舌づつみし、新年の思いを語りあった。

平野稔書記の音頭で乾杯の祝杯

をあげた。IBC 岩手放送 提供の「いわて紅白唄合戦」を観賞しながら料理を頂いた。

ブラジル県人会50周年取材した、菊地幸見ベテランアナウンサーが白組の司会、赤組は奥村奈穂美アナウンサーで、3回目のNHK紅白出場を果たした福田こうへいさん（キャプテン）はじめ、岩手県を代表する歌手が競っていた。

白組は福田こうへい（55周年芸能団で来伯）、（以下ふりかなを略）高橋研、三浦わたる、アンダーパス、千葉栄人（民謡歌手、55周年芸能団で来伯）、柴田泰孝、赤組は大沢桃子（キャプテン）、白澤みさき、濱守栄子、みやさと奏、山本樹、久保田雅の皆さん。

特別審査員に達増県知事さん、南部家第46代の南部利文さんの姿も、結果は赤組が優勝した。

話を戻すと、石川ジュリアさんの健康体操や踊りなど皆さんが参加して楽しんでいた。

ジュリアさんは若い頃の知り合い（何十年ぶりとか）の武田栄一さんと再会し、懐かしい思いで話を



していた。お二人は共に県人子弟である。遠いモジ市から菊池達郎ご夫妻もみえられた。昨年菊池さんは米寿（88才）を迎えられ、お祝いに招かれた事を思いだす。家業は息子さんに譲られ好きな事をされ日々を過ごされているそうです。また毎日誌を書いて

ているそうで、益々お元気のように100才以上が目標だとのこと。

昨年、県費研修生として調理（和食）を学んだ、八重樫亜希カリンさんが研修報告をした。カリンさんの曾祖母は旧江刺市から曾祖父に嫁ぎ東京へ、その後一家でブラジルに渡っている。

研修の推薦手続など県人会の協力で感謝。研修先は和食の「和久」さんで、はじめは洗いや野菜切り、ランチのセット、魚のおろしかたなど学び、慣れてから和食で大事な出汁のとおり方、魚の焼き方、テンプラの揚げ方、煮物やめんつゆなどの作り方、料理の盛り方など多くの指導を受けました。また、季節ごとの料理など沢山学ぶ事が出来た。

また「山留」さん（寿司屋？）でもお世話になりました。研修中、県知事表敬、各種イベントに参加し、県担当者、国際交

流協会職員や研修先で親方の案内で名所巡りや旅行など、楽しく過ごすことが出来一生の思い出となり楽しかったと語った。



のど自慢者のカラオケなどあり、16時頃閉会し楽しく過ごした。

事務所来館者数

11月 359人、12月 362人、2017年1月 359人、2月 424人、

ふるさと図書数、利用者数

11月 476冊 108人、12月 447冊 101人、2017年1月 439冊 105人 2月 483冊 106人、

図書寄贈者 多数

寄付・寄贈

佐々木憲輔 R\$ 200,00（岩手県台風10号義捐金）、お茶菓子 訪問者多数

- 11月23日 餅搗きの案内に千田会長邦字紙2社を訪問
 24 バ伯会「ブラジル、パラグアイ関係者の集い」主賓 元プロレスラー・タレントの賀川照子さんを迎えて歓迎会
 26 猪俣康夫アルゼンチン県人会長から、安倍総理来訪訪問の報
 12月1日 県庁の八巻さんより、留研生調査依頼メール。八重樫亜希研修生は2日現地着と会長宅に電話あり
 6 天皇誕生日祝賀会が総領事公邸で開かれ会長出席
 吉田恭子賛助会会長さんに、追加義捐金25万円を高橋凡児相談役に託けると電話
 7 吉田恭子さんより、山田町の松本トミさんが、町民栄誉賞に決定
 4日 表彰式との事、松本さんへお祝いの電話を入れる。
 ☆ ベレン県人会の山中正二会長来館され懇談する
 10 餅米100キロを搗く、手伝い43名
 11 忘年会、61回誕生会に約70名参加し賑わった
 15 県連代表者会、忘年会に会長出席
 29 ブラジル各県人会、海外県人会、県関係者へ賀状を発信

- 2017年1月3日 役員会案内、会費納入者へ領収書発信
 8 東メリッサさんの留研生申込書県へ送信
 11 国際交流協会から八重樫カリンさんの研修報告書拝受
 20日 IBC 岩手放送中村好子さんより、第6回岩手紅白のDVDの送付あり、
 21 役員会 議題 定期総会、2018年の県人会創立60周年、県人移住100周年について、
 26 県連代表者会に会長出席。
 2月5日 千田会長、故・及川東子さんの弔意にアチバイアの及川さん宅訪問
 12 第58回定期総会、新年会開催に約80人参加
 18 千田会長、多田副会長、田口副会長と新役員を推薦
 23 県連代表者会に会長出席
 24 カーニバル今夜から開始

会費納入者名 2016年度-2017年度 Anuidade

2016年11月 菅原英一 (Eiichi Sugahara),
 飯塚のりこ (Noriko Iizuka),
 12月 八重樫亜希カリン (Karin Aki Yaegashi), 八重樫修パウロ (Paulo Osamu Yaegashi), 高橋凡児 (Bonji Takahashi-2017),
 高橋泰輔 (Taisuke Takahashi 2017、岩手の賛助会員),
 石川百合子ジュリア (Julia Yuriko Ishikawa-2017), 小畑ともこ (Tomoko Obata-2017), 岡田 コウ (Kou Okada 2016), 渡辺 誠一 (Seiichi Watanabe 2016), 大泉後藤みちこ (Michiko Goto Oizumi 2016),
 長野長勇 (Tyoyu Nagano 2016), 菊地義穂 (Yoshio Kikuchi 2016),
 小原アヤ (Aya Obara 2016), 佐々木すすむジョゼリス (Jose Ruiz Susumu Sasaki 2016), 石井ナルシオ ネウザ (Neisa N Ishii 2016),
 中村研三 (Kenzo Nakamura 2016), 川村益夫ネルソン (Nelson Masuo Kawamura 2016) 児玉道義ミルトン (Milton Michiyoshi Kodama 2016),
 中村佐藤洋子エレナ (Elena Yoko Sato Nakamura 2016), 元粕エイジ (Eiji Motokasu 2016),
 2017年1月 佐々木寛一 (Kanichi Sasaki 2017), 千田曠暁 (Hiroaki Chida 2017), 岩崎雄亮・宏美 (Yusuke Iwasaki, Hiromi Iwasaki, 2017), 平野富雄 (Tomio Hirano 2016), 国成貞子 (Sadako Kuninari 2016) 国成誠一ジュベニルソン (Juvenilson Seiichi Kuninari 2016),
 久保時男アントニオ (Antonio Tokio Kubo 2016 e 2017),
 中村修于 (Osao Nakamura), 大森みどり (Midori Oomori 2017), 山道慶大 (Yoshihiro Yamamichi 2017), 永松通一 (Michikazu Nagamatsu 2017), 武田春雄 (Haruo Takeda 2017),
 2月 阿部安忠 (Yasutada Abe 2017), 千葉和枝 (Kazue Chiba 2016-2017), 及川公雄 (Kimio Oikawa), ☆ 以下は2017年度会費 = 菊池透 (Tooru Kikuchi), 松井定信 (Sadanobu Matsui), 亀ヶ沢アマリア (Amelia Kamegasawa), 亀ヶ沢アメリコ (Americo Kamegasawa), 名原幸造 (Kozo Nahara), 手島おさむジョージ (Jorge osamu Teshima), 手島良子 (Ryoko Tada Teshima), 大関多田照子 (Teruko Tada Oseki), 平野稔 (Minoru Hirano), (岡田ダニエル Daniel Okada), 塚田野村よし (Yoshi Nomura tsukada), 野村なおみ (Naomy Nomura), 菊池達郎 (Taturo Kikuchi), 尾崎眞次 (Shinji Ozaki), 橋本敏郎 (Toshiro Hashimoto), 和田司 (Tsukasa Wada), 石崎一喜 (Kazuyoshi

Ishisazaki), 松井定信 (Sadanobu Matsui),
 3月 梶原まさこ (Masako Kajihara), 佐々木憲輔 (Kensuke Sasaki), 佐々木憲次 (Kenji Sasaki), 千葉直義 (Naoyoshi Chiba), 大志田良子 (Ryoko Ooshida), 千葉キク (Kiku Chiba), 多田登 (Noboritada), 多田孝則マウロ (Mauro Takanori Tada), 3月18日まで

逝去 (Falecimento)

☆ 亀ヶ沢 梅吉さん 行年93才、宮古市出身で昭和8年渡伯、モジ市在住 (Umekichi Kamegasawa 93 anos) は、2016年8月20日亡くなられたと子息のアメリコさんから報告。奥さんのアリンダさんは2014年逝去との事



☆ 大崎 孝行さん (Takayuki Oosaki) 行年83才、市内在住、渡伯は昭和36年、入院中の2017年1月26日病気のため逝去。娘さんのユリさんから電話で知らせあり。
 大崎さんは県人会は、心の故郷で心が休まると云っていたのを思い出す。



☆ 及川 東子さん (Tooko Oikawa) (及川公雄夫人、一関出身)アチバイア在。行年79才は、心臓疾患で1月30日未明逝去と知らせあり。



☆ 千田 良子さん (Yoshiko Chida 金ヶ崎。移住者故・及川安平氏の妹、秀義さんの叔母。当会賛助会員)は、昨年10月亡くなられたそうです。



☆ 武藤 嵩さん (Takashi Muto) パラグアイ国元アスシオン県人会長 (78才) は、3月8日急逝されたと連絡がありました。



☆ 亡くなられた方々のご冥福を祈ります

コロナ10大ニュース

注 サ紙 - サンパウロ新聞、二紙 - ニッケイ新聞

- 1位 リオ・オリンピック 様々な交流と支援
- 2位 JRパス 海外在住邦人を切捨てか
- 3位 (サ紙) 戦後が終わったか、サントスに日本人会館全面返還
(二紙) 県連創立から50年を祝う
- 4位 サ紙 創刊70周年を祝う。二紙 熊本地震に義捐金で応援
- 5位 サ紙 熊本地震に義捐金で応援
二紙 サントスに日本人会館全面返還
- 6位 サ紙 ラーモス移住地平和資料館が全焼
二紙 沖縄県人実りある年
- 7位 サ紙 各日系団体で新旧世代交代
二紙 日系歌手が日本で飛躍
- 8位 各地で周年・記念事業開催 二紙 ラーメンブーム到来
- 9位 核のない世界を願う 在外被爆者
二紙 ラーモス移住地平和資料館が全焼
- 10位 進まぬ文化ホール 文協
二紙 今年5月オープン ジャパンハウス

読者が選んだ岩手県の10大ニュース

(サイト 岩手日報社より)

【1位】 完全岩手国体 本県は天皇杯2位 (7906点)



【2位】 台風10号 岩泉など甚大被害 (7781点)

【3位】 「二刀流」大谷、日本一に貢献 (7305点)

【4位】 両陛下が来県 温かいお言葉 (3810点)

【5位】 バスセンター 55年の歴史に幕 (2786点)

【6位】 マルカン(花巻)閉店 食堂は再開へ

【7位】 全国障スポ大会 県勢が大活躍

【8位】 各地でクマ騒動 初の警報も

【9位】 錦木、県人16年ぶり入幕

【10位】 北海道新幹線開業 県民も関心



忘年会 2016 誕生会



12月11日 (日曜日) 正午から今年最後となる県人会の集いである、忘年会と第61回誕生会が行われ

60数名が参加し賑わった。

多田副会長の司会で開会。千田会長が年間を通して様々な親睦事業や活動、第71回希望郷いわて国体に県人会から6名が参加し様々な交流が出来た事は、会員皆様のご理解とご支援があったお陰と謝意を表した。

高橋凡児相談役の音頭で乾杯し食事会が行われた。会員持寄り料理、また岩手の郷土食(すいとん、じゃじゃ麺)で多様な料理を味わった。

なお高橋さんには年末の訪岩にあたり、8月の台風10号で大きな被害を受けた岩泉地方や沿岸地方へ、会員皆さんからの支援があった第2次義捐金25万円を託した。(第1次は、岩手国体のおり同額を義捐金を受付けている岩手日報社に届けた)

食事後、石川ジュリアさんの指導で音楽に合わせた、健康体操があり、老いも若きも皆さんと一緒に体験した。

当日は、岩手国体のビデオを観賞(IBCテレビ提供)陸前高田市「麻の葉」代表



大和田加代子さんから、提供された手作り品や他賞品などで、ピン

餅搦き 2016 心を込めペタンコ

12月10日(土) 県人会恒例の餅つきが行われた。餅米100キロを前日午後洗う、翌早朝から準備、女性たちがもち米を蒸す。昼食の用意、ボランティアは43名が手伝った。

蒸しあがったもち米を、餅搦き機でまわし、臼へ移しペタンコ、ペタンコと日本古来の餅搦き風景。

副会長たちや、若人、女性陣、ブラジル人と様々な人々が餅つきを体験した。搦きあがった餅は、餅切機で一つの大きさに。若い人たち



で殆ど完売。皆さんお疲れさまでした。

丸め。続いて年配者が片栗粉を刷毛で落とし綺麗に仕上げた。

出来上がった餅を500グラムに袋詰め。午後2時過ぎから注文者に配布。夕方6時頃までかかった。良い餅が出来

ゴの景品となった、誕生会、カラオケなど夕刻まで賑わい、お互い健康に新年会でまた会いましょうと。



日本移民 110 周年 (2018 年)

式典は日本まつり会場を予定



実行委員長に菊地さん決定

(ニッケイ新聞 2月4日付けより要約)

日系主要五団体による、日本移民 110 周年記念組織委員会会合で、実行委員長に菊地義治さん(岩手県人)の就任が決定した。菊地さんは岩手県一関市出身、1959 年 12 月青年開発青年隊員として移住。岩手県人会長を 4 期 8 年(県連副会長)、サンパウ

ロ援護協会会長を歴任。

実行委員長の候補として諸々の名が上がるなか、実行委員長の最終候補として浮上したのが菊地さんだった。3 期 6 年の援護協会会長を務め、昨年末に任期満了で勇退した。

公益社会福祉法人としての認可維持のため、組織改変を迫られるなど、転換期を迎えた援護協会の経営安定に貢献した。その誠実な人柄と手腕が買われた格好だ。

菊地さんは 2 月の県連代表者会に出席し、日本移民 110 周年開催の必要性の思いを語った。

「何故日本まつり会場で」来年の記念式典を日本まつり会場に予定したい理由は、世界最大の日系イベントに成長した、日本まつりで式典を行うことが、日系社会と各県人会双方に良い事と思つたと説明。加えてジャパンハウスのアピール、東京五輪の宣伝効果、来年は多くの県人会が周年式典を予定で、この期に各県別の物産展などを行い、日本食や物産を広める可能性もある。



「経済面」では県連に迷惑をかけるない、援協が行っている協力券販売(乗用車)や、有名銀行などの資金提供を打診する案が示された。

「皇族の参加」来年はエクアドル移民 100 周年に参加されるが、式典参加は難しいのでは、代わりに地方を訪問して頂ければと話していた。日系社会の活性化と将来を見据えて、日本祭りでの式典開催に賛同して貰いたいと各県人会に要請した。最終的には、ブラジル社会を良くする事で、必ず成功させると語った。

東洋街に新名所？

12 月初旬、東洋街(ガルボンエノ街・昔は日本人街とも言われていた)に設置されていた休息用長椅子 9 個に、新しく一部歩行者道(緑の部分)や新しい両面使用出来る、長椅子 4 個が設置された。

日本食や日本品などを求めて、買物客や週末のリベルダーデ広場の東洋街に群がる人々と、付近を散策している人たちの休息場所が出た。特に週末や休日には大勢集まる同街。ますます足を運ぶ人々が今までより増えそう。

尚、下の通りグロリア街には休息所一個と、携帯など充電できる太陽光パネルが取り付けられている。

日系人が育てた東洋街が益々名所？として、繁栄するが見守りたい。



遊歩道が完備されたガルボン通り

山田町の松本トミさんに文化功労賞



山田町では、長年にわたり町政の推進に功労のあった方を表彰する、平成 28 年度町勢功労者の表彰式が 1 月 4 日、町中央公民館ホールで新年交賀会と併せて行われました。

表彰式には来賓の昆町議会議長、鈴木俊一、黄川田透、橋本秀のりしゅうぎん、ちやうない、かくだいひやう、めい、しゆせき、きやうぎん、ちやうない、かくだいひやう、めい、しゆせき、教衆議員、町内の各代表など 196 名が出席。体育功労 2 人、文化功労 1 人、納税功労 4 人、民生功労 1 人、統計功労 1 人が表彰された。その中に松本トミさん(87 才)が文化功労(華道ほか)を受賞した。

式では、佐藤信逸町長から受賞者に表彰状と記念品が手渡され、じゆぶひやう、まつもと、かたど、ひやう、か、しやう、じゆぶひやう、まつもと、かたど、ひやう、か、しやう、受賞者代表の松本さんが「活動を評価していただき、このような賞をたまわったことを、とても嬉しく思います。私が華道をはじめさまざまな文化活動が続けることが出来たのは、関係者皆さんの支えがあったからこそと感じています。これからも芸術文化の普及に努めていきます」と謝意を述べた。(文・写真 山田町総務部提供)

松本さんは当県人会の賛助会員であり、賛助会の副会長もかねている。実弟の藤村光夫さんは、1959 年ブラジルに移住、松本さんは機会ある度親族訪問やパラグアイを含めた県人会式典に参加され、皆さんと交流を深められている。松本さんおめでとございます。

東日本大震災から6年 未来へ向けて頑張ろう

震災直後の山田町



「はじめに」 東日本大震災から今年も6年目を迎える。被災地や被災者の皆さんは、様々な困難を乗り越えられた事に敬意を表します。また、犠牲者や行方不明者のご冥福や、被災地の早期復興を願いつつ、心静かに今後も3月11日の震災日を風化させないよう祈っております。

「大震災」2011年3月11日早朝弟の報で、テレビでにスイッチをいれた。沿岸一体の大津波や火災などの映像、巨大地震や大津波の恐ろしさを身をもって感じるようでした。

早速、県内知人や沿岸地方の知り合いに安否確認の電話をしたが、どこも停電で通じず大変心配。若い人がメールだったらとの事で、安否を問い合わせた。

県人会には被害者や被災状況など会員からの問合せが相次いだ。またテレビ局から取材の申込みなど深夜の中継もあった。会員から親戚



の安否確認では、犠牲者の悲報よりも、各地の避難所名簿を探して誰々の名前があった方は、無事でいることを伝えた。

震災4日目に山田町の知り合いが無事である事を確認。一家無事で心配が解けましたが、住居1階は浸水し2階は無事。

家屋の裏壁や庭に駐車場の車が折り重なるように押し流され、表通りにはキャンピングカーや家具、ゴミなどが

離散、津波の凄まじさを物語る写真の送付がありました。

娘さん夫婦の店舗兼住居は火災で焼け流されたとの事。



救援物資は道路寸断で生活必需品が届かず、大変ご苦労されたと聞き心痛ました。ブラジルを訪づれた県内在住の若い知人たちに、連絡し被災地支援をお願いした。後日その方々から現地の情報写真や動画の提供もあった、

「行方不明者」6年が過ぎた震災被災地では、2,500人余の行方不明者がいるという。ある地域の人は潜水資格を取り海へ潜って不明の奥さんを今でも探していると特番で報じられた。不明者家族の心情が分かり、心が痛む思いは私だけではないだろうと思う。

「支援活動」震災直後から被災県人会はじめ、日系各団体が義捐募金が始まった。当時の募金集計では円にして6億円程の善意が寄せられた。県人会では銀行送金では多くの所得税や諸費の負担が多く、日赤だと何処県に行くかわからず、岩手県のため寄せられた善意の募金は直接岩手県庁へ会役員が直接届けた。

「復興状況」岩手日報社で沿岸部12市町村に復興状況を書面でアンケートを行った結果、北部沿岸6市町村で80%超と回答があった。

一方被害の大きい沿岸南部では50～70%の回答が多かったそうである。この調査から着実に復興が進んでいるようである。



震災2ヶ月後 JR 山田線の線路と強固なはずの堤防も流されていた



一方、住居を失った被災者は仮設住宅から自宅再建の目処がたたない方々も多くいると伝えている。

2013年県人会55周年式典参加のため来伯された、達増県知事が震災復興計画で8年かかると話されていた。察すると完全復興には未だ遠いのかも知れない。

被災各地では、瓦礫処理が終わったあと復興計画に伴い、浸水地域の嵩上げ工事が進み現在では、商業施設を含め住居の建設も進んでいるようである。

「おわりに」

あの大震災を教訓に、一つしかない命を大事に。また、以前の生活や街づくりが訪れるよう祈ります。



震災6年、復興への決意胸に



本県沿岸市町村

東日本大震災から6年を迎えた11日、県内では多くの方が犠牲者を悼み、深い祈りをささげた。防潮堤の上での黙とう、折り鶴流し、夢あかり…。今も癒えぬ悲しみや悔しさ、明日への決意などを胸に、幅広い世代がさまざまな行事に参加した。

【写真(右)＝震災と台風10号豪雨から復興を誓い風船を空

ようやく仮設入居へ

台風被災、岩泉町の中野団地

岩泉町は25日、新たに整備した同町岩泉の岩泉中野仮設団地(42戸)の鍵を被災者に引き渡した。全壊や全壊相当の33世帯が週末にも入居する。台風10号豪雨から間もなく3カ月。被災者はほっとした表情で鍵を受け取り、早速新居を確認した。

同日は朝から業者が冷蔵庫やエアコン、炊飯器などの家電を搬入し、午後には町職員が避難所の町民会館などで入居する被災者に鍵を手渡した。

同仮設住宅は龍ちゃんドーム近くの町有地に整備し、間取りは1DK(21戸)、2DK(12戸)、3K(9戸)の3タイプ。

に放つ小本地区の子どもたち＝11日午後4時、岩泉町・小本津波防災センター】

【写真(左)＝震災遺構の「旧道の駅高田松原タピック

45」前で夢あかりの柔らかな光を見つめる親子＝11日午後6時8分、陸前高田市高田町(2017/03/12)



22日に完成した。高断熱材を使用し、風除室を装備。最長2年間住める。町と県は残りの7仮設団地計129戸も年内の完成と入居を目指している。

同町では全壊・大規模半壊676棟を含む住家961棟が被災し、98人が避難所で避難生活を送っている。【写真＝孫と一緒に新居を確認に訪れた男性＝25日、岩泉町岩泉】(2016/11/26)

真っ先に高台へ 釜石で「韋駄天競走」

津波発生時の迅速な避難行動を啓発する「韋駄天(いだてん)競走」は5日、釜石市で行われた。参加者は東日本大震災の教訓を継承していこうとの願いを込めて避難経路を一気に駆け上がった。

4回目の今年は2歳から64歳まで過去最多の137人が参加。6部門に分かれ、津波浸水した市



街地から標高約30メートルの高台にある同市大只越(おおただこえ)町の仙寿院を目指し、約300メートルの坂道で競った。参加者は急勾配や急カーブが続くコースに息を切らしながら、「津波が来たら速やかに高台へ」と避難意識を高めた。

各部門1位には「福男」「福女」などの称号が与えられ、同市定内町の消防士佐藤純平さん(36)は親子の部で長男謙真(けんしん)君(小佐野小3年)と「福親子」に輝いた。純平さんは「津波発生時には高台に逃げるのが第一だ。この行事を通して子どもにも避難の大切さを理解してほしい」と思いを語った。

【写真＝高台の仙寿院を目指し、勢い良く駆け出す親子。参加者は「福男」や「福親子」を目指しつつ、災害時の避難の重要性も再確認した＝5日、釜石市只越町】(2017/02/06)

福田さんの勇姿を見ようと、地元の盛岡市門前寺(もんぜんじ)(旧玉山区)の集会所では31日夜、近所の住民らが集い、熱い声援を送った。同地区の自治会や福田こうへい門前寺後援会のメンバーら住民約40人が集合。福田さんが登場すると、手作りのうちわを振って

大きな拍手を送った。【写真＝福田こうへいさんに声援を送る地元住民ら＝31日、盛岡市門前寺】(2017/01/01)



福田さん2年ぶり紅白熱唱 古里・盛岡からも声援

【東京支社】第67回NHK紅白歌合戦は31日、東京都渋谷区のNHKホールで開かれた。今回は2020年東京五輪に向け「夢を歌おう」をテーマに開催。2年ぶり3度目の晴れ舞台に立った盛岡市出身の歌手福田こうへいさん(40)は、日本の希望と復興への思いを乗せて「東京五輪音頭」を熱唱した。

16番目に登場した福田さんは「三波さんは日本の戦後の復興を世界に示し、皆さんを元気にしたいとこの歌を歌ってまいりました。私もこの曲を今日ほど派手に歌ってみたいと思います。東北、日本を元気にします」と力強く意気込んだ。プロ野球日本ハムで投打の「二刀流」で大活躍した大谷翔平選手(22)＝花巻東高出、奥州市水沢区出身＝はゲスト審査員として出演し、花を添えた。

TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br
岩手県人会ニユー・ス195号、ふろさとだより ㊟ 併合 2017年4月発行

Rua Thomaz Gonzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020

岩手県人会

Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil



岩手県人会今後のプログラム

Programação de Eventos Iwate kenjinkai

☆ 4月30日(日) **第62回会員交流誕生会**

62° Confraternização e Aniversarante

食事は持寄りをお願いします。飲物ケーキは県人会で用意

Sistema de Moti-yori Bebidas e Bôlo Kenjinkai

県知事より賀詞伝達、ビデオ鑑賞、ビンゴ、カラオケなど

Temos Bingo, Karaoke, etc.

☆ 5月7日(日) **東北6県・北海道ブロック第13回運動会**
は、Colégio M,Arquiocesano Rua Afonso Celso 840 (Próx. ao Metro Santa Cruz) で行われます。

☆ 5月28日(日) 28/05/2017

第11回わんこそばまつり

11° Festival de Wanko-soba



☆ **第20回日本まつり**は、7月7. 8. 9日に開催されます。

20° Festival do Japão dia 7/8/9/Julho/2017

Local ; São Paulo EXPO (EXPO Imigrante)



写真 パラグアイの世界遺産3件あるが、イタプア県にあるトリニダド遺跡(イエズス会伝道施設で1706年に建造された) 2015年7月、ピラボ岩手県人会55周年のおり、イグアス県人会の伊藤勉さんの案内で、県慶祝団皆さんと一緒した時のもの。